

中和田教会より

信仰のいしづえ

山崎神父

昭れくさかたのか父は、生まれて間もない私を抱き上げては見えたが見えたかと顔を近づけたり、離したりしていた事があつたそろで、離しました。七人兄弟の末っ子でしたからせん坊でも余り者の様に兄達からは馬鹿にされるところがありました。何故私を生んだのかありました。何故私を責めたりして幼いながらも父を責めたりしませんでした。その信ずるところに従つて一番尊い物とする頭をなごるだけで、何も言つことはありませんでした。何故私が馬鹿にされましたが、父は「よしよし」と言つてありました。甲斐原秀至、東邦洋至、男明一信夫、爾雄、谷崎上井坂斐、橋幸雄、小谷佐徳、宮井角花、井坂斐、上井坂斐、昭邦洋至、信夫、重佐徳、新雄、新仕。

委員会報告

一 教会委員選任の件
次の方々が今年度からの教会委員を担当されます。

二 信徒総会の件
去る一月二十九日(日)九時ミサ後
五十九年度の信徒総会が開催されまし
た。主な内容は次の通りです。

(一) 五十九年度活動結果概要報告
当教会所属信徒総数
一五世帯 三三二名

(三) 会計報告

五十九年度一般会計收支決算
及び五十九年度予算にについて
財務委員より報告があり、会
計監査報告の後出席者多数
の賛同を得て採決されました。

第81号

昭和五十九年一月三十一日
戸塚区中田町二七〇一

TEL(88)6141

どの信仰を守り通せます。またもたどります。あと、切支
刑にすることは差し控えたと云う確
力側の都合があつてのこととしま
るちるの榮と共に「こんちりさん」
の復活の日が来るのは、信仰を

生き方が出来る様にならなければ、こ
の父母の奥深かい純粹な愛に育
機の前に座るとすぐさま頭が痛
くなるようなく強姦りござつたから
人生の初期に神様の慈みについ
じつかりと教え込まれていなければ
ば、どこの事も苦難にも耐えられない
難いことに思つております。生
きる為には大切な優れた祈り
は、明治の方々編集された後の後
何度か改訂されました。なかがわらず、
かざん山に入つて公教会祈禱文
は、この中に納められましたので、
神父様が別の一冊としてお出レに
存りました。この書物は小さな
三十枚ページの薄っぺらな物では
ありませんが、迫害が始まる少し
前にはじめて著され、ひさかた伝
えられた山た物で、幕府によつて司
祭を奪われ厳しく禁じられた

社会の表に出さない限り死
刑にする事は差し控えたと云う確
力側の都合があつてのこととしま
るちるの榮と共に「こんちりさん」
の復活の日が来るのは、信仰を
守り通せます。これは歴史上の貴重な
親から子へと口移した伝承された土
地にだけ、教会へ帰る恵みがもた
ちかってきたのです。生月島の様にこれ
を学んでいたのです。生月島の様にこれ
を研究によれば、この書の教えか
ば、どこもの事も苦難にも耐えられない
難いことに思つております。生き
る為には大切を優れた祈り
は、明治の方々編集された後の後
何度か改訂されました。なかがわらず、
かざん山に入つて公教会祈禱文
は、この中に納められましたので、
神父様が別の一冊としてお出レに
存りました。この書物は小さな
三十枚ページの薄っぺらな物では
ありませんが、迫害が始まる少し
前にはじめて著され、ひさかた伝
えられた山た物で、幕府によつて司
祭を奪われ厳しく禁じられた

社年会だより

(四) 一般会活動報告
社年会役員選任
相談役 花坂雅四郎
同副会長 佐藤義弘
会計監査役 鈴木富雄
同副会長 石井三雄

収支決算及び予算報告書
△別紙

(五) 教会創立10周年記念関連
○教会増改築の件
○歴代神父の胸像写真の掲額

社年会役員選任
相談役 花坂雅四郎
同副会長 佐藤義弘
会計監査役 鈴木富雄

婦人会だより

先日、雪もまた解けぬうちに、朝から粉雪が舞い、大変心配しました。
朝から粉雪が舞い、大変心配しました。
まし太が一月二十二日九時のミサ後、新年度スタートとしての総会と新年会が多數参加のもとに行
われました。
婦人会の働きは表面に出なくて、
神父様の挨拶も得て探検されました。

(三) 婦人会役員選任
役員 同副会長 宮崎幸子
福島久子
小野和江
山本昭子
楠田恵美子
宮崎幸子
角井みさ子
小野和江
江子

(四) 委員会関連事項として
(1) 今年度の予算上にはバザー収益
は粗込みであります。
(2) 次期教会委員会が掲示された事か
報告されました。

一般会計収支決算及び予算報告書

カトリック中和田教会 教会委員会

(58. 1. 1 ~ 58. 12. 31) (5)

(59.1.1 ~ 59.12.31)

摘要	予算	実績	摘要	予算
(収入)			(収入)	
月定献金	3,400,000	3,291,200	月定献金	3,300,000
三サ献金	980,000	1,008,200	三サ献金	1,000,000
特別献金	—	433,171	特別献金	—
預金利息他	—	13,416	預金利息他	—
計	(4,380,000)	(4,745,987)	計	(4,300,000)
前期繰越金	125,317	125,317	前期繰越金	487,073
合計	4,505,317	4,871,304	合計	4,787,073
(支出)			(支出)	
祭儀費	166,000	206,010	祭儀費	210,000
行事費	—	161,389	行事費	186,000
布教文化費	222,500	67,650	布教文化費	139,400
教育養成費	30,000	2,000	教育養成費	10,000
本部分担金	438,000	395,000	本部分担金	490,000
図書費	—	23,400	図書費	81,200
修繕費	—	46,440	修繕費	50,000
火災保険料	48,000	52,500	火災保険料	52,500
人件費	2,510,000	1,786,000	人件費	2,310,000
福利厚生費	143,000	32,518	福利厚生費	—
消耗品費	10,000	5,226	消耗品費	10,000
消耗備品費	5,000	21,150	消耗備品費	20,000
通信費	90,000	73,145	通信費	80,000
涉外費	—	95,560	涉外費	100,000
水道光熱費	357,000	343,582	水道光熱費	348,000
自動車諸費	285,000	22,860	自動車諸費	—
会議費	5,000	10,280	会議費	20,000
雜費	20,000	14,021	雜費	20,000
修繕積立金	—	1,000,000	修繕積立金	500,000
退職積立金	102,000	25,500	退職積立金	—
予備費	73,817	0	予備費	159,973
合計	4,505,317	4,384,231	合計	4,787,073
次期繰越金	0	487,073	次期繰越金	0

総会に続いて新年会に移りました。
昼食と共にしながく歓談したり、
歌をうたつてから自己紹介を行な
いました。その後山崎さんより
レジオについての紹介がありました。
その内容は次の通りです。

| 祈りと活動を通して自己の聖
成とはかるのか目的であり世界
的かつなかりを持つ会である。
活動の内容としては家庭、病院、
聖母の園等と訪問する。以上を
活動会員と云い、祈りによって活
動をさゝげること援助会員となる
事も出来る。集会は毎週金曜
日、午前十時より十一時三十分迄
迄と火曜日、午後七時三十分より
九時迄に行なわれるのかある。」

最後に例会に対する希望として
。信者として知つてありた方が良い
事(マナー)をおしこもうい
たい

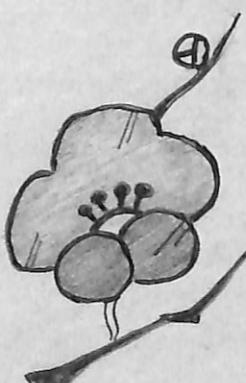
。聖書について話を聞きたい
等の詰しか出されませんでした。

今年度も定例会にはなるべく
出席して神父様のお話を聞き、

转入

ブイリーボ
山川 涙さん

少しバフでも自分を変えてやく
事が出来る様にお祈りと共に
頑張りますよう。どうぞよろし
くお願いいたします)。



中和田教会より

昭和五十九年二月二十九日
中和田教会広報委員発行
戸塚区中田町二七〇一
第82号

鬼出

山崎神父

二月二十九日三サの後出席者三十名
ご例会が行なわれました。

(一) 神父様より堅信について次の様な
お話をありました。

(一) お知らせ

(二) 年間の行事予定について
御復活、堅信式、クリスマスの準備と年伝い、ハイキンゲ(十月三日予定)等々。又例会を大切に有意義にやつこりニラ……等話し合や山た。

(三) 戸塚教会の神父様が長期間留守の為(三月十日(土))の役員打合せと六月の例会を合同で行なう事を協議した。

(一) 三月十三日(火)戸塚教会婦人会の懇親会があります。希望される方はどうぞ参加して下さい。

(二) 三月三十二日(木)カトリックセントラルに於て婦人同志会の総会を行なわれます。

(三) フジニタス松原の事業の協力の一環として和服と和服を着るのに必要な物等集めたいと思ひます。ラジルに送る(ご冬物以外)出しても良い物がありましたが御協力下さい。三月十八日(日)大切です。

お知らせ

五月二十七日 池原市教委の会議
訪問を受け、堅信式が行なわれます。
堅信を受ける方（その日中学一年生
以上の方）がまだ堅信の秘密を受け
ていない方）は出来るだけ早く
主任司祭までお知らせください。

(二) 下さい。
灰の水曜日
灰、火とミサ(大音・小音)
十字架の道行キ
三月九日(金)から毎金曜日(四旬)
節中 PM 4:00より

(四) 聖書勉強会
毎回木曜日聖書の勉強を始め
ております。多數参加下さい。
三日は午後(土) AM10.30より。

中和田教会だより

昭和五十九年三月三十一日
中和田教会広報委員会発行

三月九日(金) 定例会
○題会の件

最近思ラニと

社年会会長 萩原政弘

遅かった春もようやく近づいて
きたようです。中和田教会が創立
されてからはや十年になろうとし
ています。この間初代の木村神父
様、二代目の宮下神父様と現在の
山崎神父様の三代にわたる神父様
のご努力と教会委員会を始めとする
信者の皆様方の奉仕活動により中
和田教会も着実に発展して参りま
した。私達は不斷日曜日以外
はほとんど教会を離れ、社会の一員
として会社や学校で、あるいは自
営の方は自分の仕事に従事し毎日
真剣に取り組んでいるわけですが
最近のよう何事にもスピード化
が進んできますと、毎日何かに追
われて生活していけるような気忙し
い感じがして落着いた気分にな
らないのが現状ではないでしょ
うか。この様な社会環境の中ご
自然にお互いの対話を少しく

なり、自分勝手な行動をとる
ようになつて権利は主張するが
義務を果すこととはしないと「う
風潮が一般的となつてしまつたよ
うな気がします」。家庭内暴力
や学校内暴力が種々話題とな
りますが、これらも歴後の「
後興期」から経済大国と言われ
るようになつた現在まで物質的
な豊かさを追求するあまり、
精神的な豊かさ、つまり心の広
い人間を作る教育がなあざり
にされてしまったようです。
私達信者は少くとも神の愛の
教訓を受けた者で、神からのお
恵みを受け生きてこられるのです
から、神に感謝すると共に神の
愛の実践者となり、例えどの
力は小さくとも一人一人が身近
なところから対話を通じて精
神的な豊かさを持つ人間とな
ることを目指すといふことです。

(二) 教会内の聖母等販売の件

従来は転出された佐藤様が担当しておられたが、引継ぎが円滑と欠き現在に至つてゐる。幸い阿部洋子様、山本聖子様御両人お担当頂ける由でお願いすることにした。又運転資金には二度カトリック新聞の手数料返戻金(約六,〇〇円)の御寄附をレジオ婦人会関係よりあたのご好意を充當することにした。然し物品の購入、資金の運用については責任者か居らぬと前記御両人も実行が困難であるとの見地から婦人会に責任者を依頼してみるとこととした。

(三) 信徒相互連絡網の件

先の社年会において当教会信徒相互の連絡網形式の必要性が提案されましたが、本件につき連絡網のあり方、方法等を検討した。結論としては現任山崎神父様が整備中の信徒名簿の見直しが完成(聖理は四月中には終

(四) 教会学校リーダー養成の件

了の見透し)した後に正式な連絡網を組織することとし、取次ます。性急事項が発生した場合は牡丹会婦人会を通じて迅速に相互連絡を取り合うこととした。

教会学校リーダー養成の件

三月十八日～二十日の三日間横浜
カトリックセンターにありて教会学校リーダー養成が開催され、当教会より十七名の青年会員が参加、宿泊費を含め四〇〇〇円を教会会計より支拂ふことと了解された。

婦人会だより

(一) 三月十八日(日)ミサの後出席二
十四名で例会が行なわれ、神父様よ
り默想と祈りに聞しき次の様な

(二) 宿題を半年食メンバーで担当します。
相模原靈園に当教会として四つ
のスペースを確保してあるヒロの紹介

(三) 会出席等の際の名札着用の勧
め^行並相互確認した。

(四) 信徒間のコミュニケーションを計る行
事への積極的参加。

あ知らせ

(二) 三月十日(土) 戸塚より三名、原宿より一名の役員を迎え、次の様な話し合ひを行つた。

(1) 六月の例会は合同で行なう。

(2) 年に二回ぐらいは合同で何か行事を開催する様検討する。

(3) 五月二十日は戸塚教会のバザーがあるので参加願いたい。

(四) 四月例会の会場は跡場地です。

(三) フミニタスの会員の和服等たくさん御協力有難うございました。きっと喜んでいただけると思ひます。

お知らせ

(五) その他

○子供会は三月十八日終了式
新学級は四月十五日(日)始業式
○御ミサ(特に日曜日九時)前の告解について。
他の信者の方々との影響もあり御ミサ前の告解は五分前で打切りとし、必要な方は早目に御来堂の上神父様に依頼して頂くよう周知徹底を計り皆様に御協力願うこととした。

社年会より

始めに短かい祈りをしてから黙想書きを読んで何か書いこあるかを自分の考えの中まとめる。それをしてにして自分の生活を見直し改めて実行する。あるいは書いこある事の内容をつかむだけでもよい默想にする。祈りは神様の方に心を向けて心を統一して祈る。すべての行ないも祈りとしてお捧げする事ができこう。又忙しくて心構えによって祈りはいくつても捧げる事ができこう。大切な事は「気持ち持ち方によう」を行ないの意味は変つてくる」と云う事で、足りない所は神様が補つてくださると云う事に信頼をおこころに祈りましよう。

四月の典礼

四月十五日(日) 枝の主曰
四月二十日(金) 聖金曜日(主の食離)
四月二十二日(日) 復活の主曰

中和田教会より

昭和五十九年五月三十一日
中田町二七〇一
中和田教会広報委員会
TEL(803) 6141

堅信の日 のメモより

（受宣者代表）
「一つくしめ深い神よ、今日の聖
信の御跡の恵みを冥らせ。私達の
心を聖靈のたまものに満たして
下さい。私達が十字架につけられ
たキリストと社会の方をご恐れ
なく宣言し福音の教えを愛き
こめて実行することができますよ
うに。私達の主イエス・キリスト
によつてアーメン」

本日は御多忙のところご臨みとなりました。この教会の堅信の為に御足労いた
たましこ大変有難うございました。(心から御礼申し上げます)。
この教会は創立以来十年になります。信徒約二百名か山崎神父
様を中心毎日曜日の午とめと果
たし、社年会、婦人会、青年会、子
供会、一体になりまし信徒として
この道を歩ませて戴りてはお
りますけれども、まだまだ私ど
も至らないところ多いものござ
ります。本日の堅信の跡を受け
ち出た若い方のみなさま、私ども
一同、もう一度力トリック信者と
しての使命、それを振り返ってみ
て、今後更に信者としての道を
より確かに歩ませて戴きたいと
このように思つております。何卒
よろしくお指導お協力の程を
お願ひ申し上げる次第でござります。
本日は大変どうも有難うござ
りました。

婦人会だより

例会は五月二十日に開催、二十九名が出席した。

説教で長く話しましたが、また私が話したすと皆様はラムゼリしていらっしゃると思いますので簡単にしてしまうけれども……。今日は皆様方と一緒にお祈りが出来ましたし、特に堅信の歴史をお受けになつた沢山の方からいらっしゃるし大変頼もしく思います。この中から沢山のまばらしい信徒便徒取一先程の決意かあたよらにあります。あるいはシスターあるいは神父様も生まれるのではなくがなと期待しております。でも、いちばん喜んでいらっしゃるのは、イエス様だと思います。こめだけの特に堅信を受けられた二十数名の方から二十九先に学校の友達とか取扱場の仲間とがどうこう方たちに声をかけすごいし、でも同じ信仰に生きる者を増していく、まずはいい宣教者となることを心から祈っております。暖かい歓迎ありがとうございます。(司教)

二〇九

今日は十周年記念増築工事に
つき石井委員が説明のため出席された。御説明によれば現在の集会室を拡張する工事は工事中、既存建物の使用上の制約が多い等の理由で必ずしも望ましくないのを、独立した集会室を建設するというう案にまとまりつつある。

一階に集会室、二階に和室、三室を設け、多目的使用を考えており、一度に工事をすることか経済的に無理なく工事を二回に分け、とあります。一階部分を建設したいと考えている。詳しい説明を受けた後質疑応答が活発に行われ婦人会としては、次の様な意見のあることを、教会委員会へ伝えていたく事になった。

(一) 教会建物増築、或いは補修工事については聖堂部分も含め、将来的展望に立つて長期計画をた

祝堅信

上

お知らせ

横森望宮宮松松福福七鳥武高高鈴下小大大太岩伊
以塙田向崎川下下島島浦辺田橋橋木山山宮原原田崎
上二敦和親登後悟淳惠麻義順訓恭桂正惠真
六名美修人二司美里人子子子子子子惠子生

(二) 次回 当番は中田地区です。

(二) 工事施行業者の決定は入札で決めるのかよいのではないたらか
(三) 教正より借入金をする場合の具体的的な返済計画を示してほしい
(四) 信徒建設、増改築等の場合、信徒と之に經濟的協力のため努

(五) しかし妻と子供だけが信徒の家庭もあるのご経済的負担が

マリア

荒木由美子
伊藤井彰
久彌輝宏